

「思いやりの心を育む人権教室」紙芝居（B4サイズ）

整理番号	タイトル	内容	対象	場面数
1	こぎつねコンとこだぬきボン	谷をはさんだ二つの山に、きつねとたぬきの家族が住んでいました。両方の家は中が悪く…	幼児 小学校低学年	24
2	こぶたのけんか	森からやってきた子ぶたと、村からやってきた子ぶたが細い土手の上でばったり出会いました。どちらもゆずらないので…	幼児 小学校低学年	8
3	いっしょにあそぼ！	「おはよう！」ゆうたが挨拶しても、誰からも返事がありません。「クレヨンかして！」と頼んでも「いやだ！」というばかり。でも…	幼児 小学校低学年	12
4	いばりんぼたかしくん	たかしくんは4月から青組。いちばん大きい組です。だから強いんだ、いばれるんだ。	幼児 小学校低学年	12
5	いじわるなんか するからさ	お店やさんごっこにいれてもらったきつねとたぬき。いじわるしようと、いろいろなことをします。	幼児 小学校低学年	12
6	ぼくにもわせてよ	公園の隅にぽつんと三輪車。そこに小さな男の子が来て…	幼児 小学校低学年	12
7	みんなのこうえん	からだが大きくて強くまどんは公園でいつもいばっています。他の動物たちは…	幼児 小学校低学年	12
8	りんごのおいしいわけかた	森のりんごの木に実がなって動物たちがわくわくしていると、いじわるゴリラがやってきて…	幼児 小学校低学年	12
9	うみがめジェーンまたきてね	障害を持ったうみがめジェーンの産卵と、それを見守る川崎さんを描きます。	幼児 小学校低学年	12
10	もうどうけんベルタ	石塚さんは盲導犬・ベルタと出会ってから、どこへでも出かけられるようになりました。	幼児 小学校低学年	12
11	はしれ！ くるまいすのいぬ はなこ	事故で後ろ足が動かなくなった犬・花子。木村さんは花子のために車いすをつくります。	幼児 小学校低学年	12
12	トキのあかちゃん	絶滅の危機にある鳥・トキ。佐渡トキ保護センターの金子さんは大切に卵を見守ります。	幼児 小学校低学年	12
13	たぬきのぼんた げんきでやれよう	町に出てケガをしてしまった子ダヌキの世話をする二人。元気になった子ダヌキとの別れの日が…	幼児 小学校低学年	12
14	モーリーさんのおおきなテーブル	モーリーさんは大きな大きな木。森の動物たちと仲良く暮らしていましたが、ある年のこと…	幼児 小学校低学年	12
15	ゆっくり ゆっくり	みかちゃんは歩くことや話すことがみんなと少しちがいます。それで仲間はずれにされてしまいますが…	幼児 小学校低学年	12
16	ひろしとひまわり	「ひろしは、へんなやつだ。」ゆうきは、そう思っていました。でも、ゆうきのひまわりの芽がなかなかでなかったとき…	幼児 小学校低学年	12
17	みんなのあかちゃん モルモット	みんなで分けたモルモットですが、とおるくんもほしかったことがわかりました。そこでみんなは話し合い…	幼児 小学校低学年	12
18	また、あおうね	中国からやってきたエンボくんは、ひとりぼっちでさびしそう。	幼児 小学校低学年	12
19	くれよんさんのけんか	赤と黄色のくれよんが、けんかをはじめました。そこでくだものの絵を描いて勝負をつけようと…	幼児 小学校低学年	12
20	したきりすすめ	じいが山から連れて帰ったすすめの舌を、ばあが切っておいだした。じいはすすめのおやどを探して…	幼児 小学校低学年	16
21	花のき村とぬすびとたち (前編)	花の木むらに、5人組のぬすびとたちがやってきました。ぬすびとのかしらは、4人の弟子に村の様子を見に行かせます。	幼児 小学校低学年	12

「思いやりの心を育む人権教室」紙芝居（B4サイズ）

整理番号	タイトル	内容	対象	場面数
22	花のき村とぬすびとたち (後編)	ぬすびとのかしらが弟子たちを村へおくりこんでいるあいだに、一人の子どもが子牛を連れてきて、かしらにあずけました。	幼児 小学校低学年	12
23	ごんぎつね	ごんは、自分のいたずらのせいで、兵十のおっかあがうなぎをたべられずに死んでしまったのを、くやんでいました。	幼児 小学校低学年	16
24	てぶくろをかいに	寒い冬、こぎつねは母ぎつねに手ぶくろがほしいとせがみます。すると母ぎつねが手を揉んでくれ、片方だけ人間の手に…	幼児 小学校低学年	12
25	きつねのつかい	山の中に、さるやしかやきつねがいっしょにすんでいました。ある日、みんなのあんどんの油が切れてしまいました。	幼児 小学校低学年	12
26	どんぐりとやまねこ	いちろうのところにきた葉書はやまねこからのものです。めんどうな裁判をするので、きて下さいというのです。	小学生	16
27	けんじゅうこうえんりん	けんじゅうが植えた杉の林は子どもたちの遊び場になりました。けんじゅうが亡くなり、村が町になっても、林だけは…	小学生	12
28	やまなし	谷川の上にやまなしがありました。その水の底には、かにの親子がすんでいました。水と光がおりなす幻想的な世界。	小学生	16
29	ふたごのほし	ふたごの星が、ある時ほうき星にだまされて海へおとされてしまいます。ひとでやくじらにおどかされたふたごの星は…	小学生	16
30	よだかの星	鳥たちからきらわれ、タカからは名を変えろと言われた「よだか」。よだかはおいつめられ、星になるため天にのぼる。	小学生	16
31	おいの森とざる森、 ぬすと森	岩手山のふもとの森と人間たちの原始的な交流を描く、自然と人間との大らかで豊かなふれあいの物語。	小学生	16
32	まつりのばん	秋まつりの夜、りょうじは空気獣の見世物小屋で、へんなみのを着た大男に会う。小屋の人たちにいじめられた大男を、りょうじは…	小学生	16
33	注文の多い料理店	獺にきた二人の都会の紳士が山奥で道にまよい、おなかをすかしていると、山ねこ軒というレストランがあらわれました。	小学生	16
34	グスコブトリの伝記 (前編)	グスコブト리는森の中で生まれ、たびかさなる飢饉で父母を失い姉のネリとも別れて、自分の力で暮らしていました。	小学生	16
35	グスコブトリの伝記 (後編)	ブドリはクーボー博士の紹介で火山局ペンネン技師のもとで働き、火山をうまく爆発させることで冷害を防ごうとします。	小学生	16
36	貝の火	うさぎのホモイはひばりを助けて、鳥の王様から「貝の火」という美しい玉をもらいます。きつねにそそのかされたホモイは…	小学生	16
37	雪わたり	雪が青く凍った晩、四郎とかん子は子ぎつねのこんざぶろうからもらったきつぶで、きつねの幻灯会へ行き、きつねに大歓迎されます。	小学生	16
38	セロひきのゴーシュ	ゴーシュはセロの音があわないと楽長に言われ、一人水車小屋に帰って練習することにしました。すると、毎晩どうぶつがあらわれて…	小学生	16

「思いやりの心を育む人権教室」紙芝居 (B4サイズ)

整理番号	タイトル	内容	対象	場面数
39	のんびりハチコがんばる	お花のみつを、たっぷりあつめたハチコがちょっとひとやすみしたところは、なんと！	幼児 小学校低学年	12
40	すてきなおんがくかい	ホタルはなくした首かざりを、ひかりでさがしてあげました。そして、もっとすてきなことも！！	幼児 小学校低学年	12
41	バッタくんのかくれんぼ	バッタたちは、かくれんぼがじょうず。あげはちょうはみつからないように木のかげへ。ところが…	幼児 小学校低学年	12
42	げんきな、げんごろうゲンちゃん	「そらをとんでみたい」という、いけのみんなと、ヒコーキにのりこんだゲンちゃんですが…	幼児 小学校低学年	12
43	ぐんたとつくつくぼうし	しんせつにしてくれたぐんたのために、つくつくぼうしが、せいっぱいはたらきをします。	幼児 小学校低学年	12
44	みんな仲間ばい！	ぼくたちのまわりには、たくさんの仲間がおるよ。クラスに、学校に、そしてまちにも数えきれないくらいの人がいていっしょに暮しているんだ。	小学校中学年 小学校高学年	10

